

平成 29-33 年度 文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究
「共創的コミュニケーションのための言語進化学」(共創言語進化)

領域立ち上げ討論会・公募研究説明会のご案内

本年度採択されました新学術領域研究「共創言語進化」の領域立ち上げ討論会・公募研究説明会を以下のように開催します。皆さま奮ってご参加下さい。

領域代表 東京大・岡ノ谷一夫

記

・京都地区説明会

日時 9月19日(火) 14:00-17:30

場所 京都大学 吉田南キャンパス 人間・環境学研究科棟 地下大講義室

<https://www.h.kyoto-u.ac.jp/access/#02>

・東京地区説明会

日時 9月24日(日) 14:00-17:30

場所 東京大学 駒場 I キャンパス KOMCEE West K001 講義室

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam02_01_55_j.html

・プログラム(両日とも)

14:00-17:00 領域立ち上げ討論会兼公募研究説明会

17:00-17:30 公募研究個別相談会

お問い合わせ(暫定事務局):

北陸先端大・橋本 敬

hash@jaist.ac.jp

0761-51-1756

本領域の概要については裏面、および

本領域 HP: <http://evolvinguistics.net> (8/30 現在準備中、暫定版にリンク)

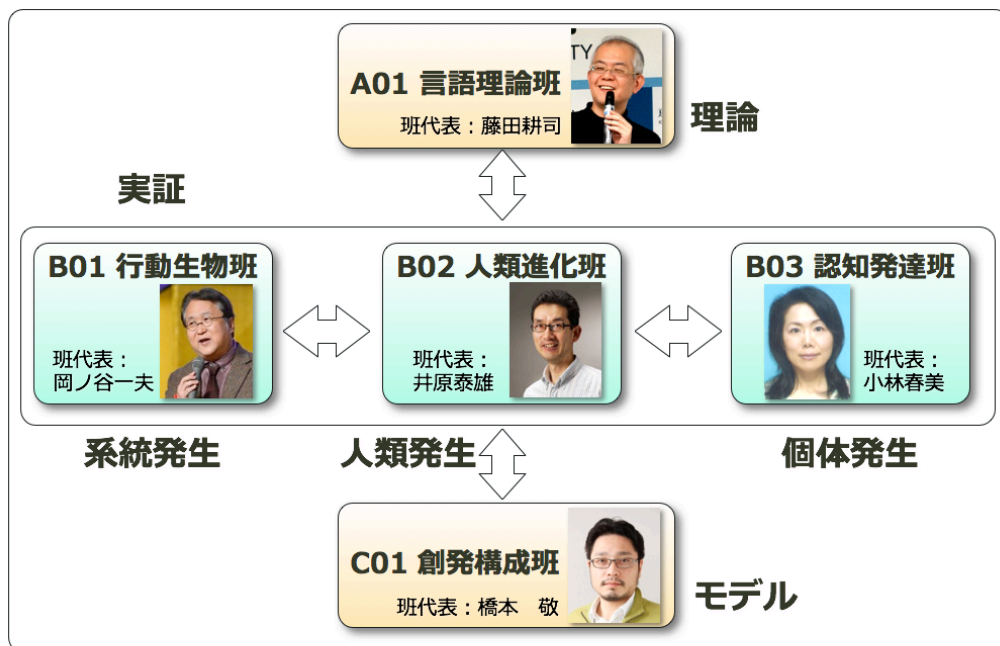
文科省・新学術領域研究 HP 上で公開予定の情報も併せてご覧下さい。

平成29年度採択新学術領域「共創言語進化」概要

本領域は二つの目的をもつ。まず、言語の起源と進化について、言語理論・生物進化・人類進化・個体発生の研究成果に整合するシナリオを作ると共に、その妥当性を数理モデルやシミュレーション、ロボット実装により構成論的に検討する。次に、そのシナリオにもとづきコミュニケーションの未来と人類の存続のあり方を提言する。これらを通じて文理を超克した新たな人間科学としての「共創言語進化学」の創成を目指す。

言語は人類が個人を超えた知を結集し文明を作ることを可能にした画期的なテクノロジーである。現在人類は、言語と情報技術を基盤とした新しいコミュニケーションを創出しようとしている段階にある。言語の起源と進化を知ること、未来のコミュニケーションのあり方をデザインできると私たちは考える。グローバル化によって生ずる国際的軋轢、情報利用の格差によって生ずる幸福格差、急激に変化するコミュニケーション様式への適応障害等、現在起こっている問題の解法を提言すると共に、人間性の本質と可能性について理解を深化させる。

各研究項目では、以下の研究内容を発展させる課題、およびこれらを補完する異なる手法、項目間を架橋する研究を募集する。研究項目 A01 は、生成文法と認知言語学の利点を統合し、音韻論や歴史言語学の知見を取り込んで言語の起源・進化に迫る。B01 は、鳥類、齧歯類、霊長類、ヒトを用いた比較行動学、比較ゲノム学、比較認知神経科学的手法により、言語を可能にする下位機能の進化を探る。B02 は、人類学、考古学、霊長類学、進化モデリングの手法により、言語の基盤となる下位機能の出現時期、および淘汰メカニズムを推定する。B03 は、子どもの言語発達過程における階層構造と意図推測の出現・発達を多角的に調べ、発達過程から進化過程を推測する。C01 は、数理モデル、シミュレーション、言語進化実験、対話実験、ロボットの相互作用実験等の構成論的アプローチにより、共創的コミュニケーションの生物進化・文化進化を探求する。



本領域研究項目・計画研究組織